

整理番号：kinseimatec-3

作成日：2022 年 3 月 17 日

安全データシート（S D S）

1. 化学品及び会社情報

製品名：S 9 1 プレミックス(粉美人)

会社名：全国農業協同組合連合会

住所：東京都千代田区大手町一丁目 1-3-1 J A ビル 33F

担当部門：耕種資材部

電話番号：03-6271-8285

F A X 番号：03-5218-2536

緊急連絡番号：03-6271-8285

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の安全データシート(SDS)

「S 9 1 プレミックス(粉美人)」(キンセイマテック株式会社作成)を参照してください。

安全データシート

作成日：平成26年12月26日

改定日：平成31年 1月29日

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称： 鉄粉、焼石膏混合粉
製品名： S91 プレミックス（粉美人®）
会社名： キンセイマテック株式会社
住所： 大阪府中央区平野町2丁目3番7号
電話番号： 06-6221-0500
緊急時の電話番号： 03-3230-2211（東京素形溶材部）
FAX番号： 03-3230-0901

2. 危険有害性の要約

GHS分類

人健康有害性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2B

※記載がないものは区分外、分類対象外または分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル：なし

注意喚起語： 警告

危険有害性情報： 眼刺激

注意書き： 【安全対策】

使用前に取り扱い説明書を入手すること

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと

粉じん、ヒュームを吸入しないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当て、診断を受けること。

気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

国・地域情報

国内法は第15章「適用法令」を参照のこと。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

化学物質

成分及び含有量： 鉄(Fe) 残部
マンガン (Mn) 0.5%未満
硫酸カルシウム (CaSO₄ · 1/2H₂O) 10%未満
CAS No.： 鉄 7439-89-6
マンガン 7439-96-5
硫酸カルシウム 10034-76-1

※鉄、硫酸カルシウム以外の不純物は合金化または結晶中に取り込まれた成分であり、いずれも単離した粒子ではないため GHS 分類及び危険有害性には影響しない。

4. 応急措置

目に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
医師の手当て、診断を受けること。
皮膚に付着した場合： 皮膚を速やかに洗浄すること。
大量の水と石鹸で洗い流す。
医師の手当て、診断を受けること。
吸入した場合： 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の手当て、診断を受けること。
飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。
医師の手当て、診断を受けること

5. 火災時の措置

消火方法： 放水または消火器あるいは乾燥砂により消火

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及緊急時措置： 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
作業者は適切な防護具（「ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、
眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
風上に留まる。
環境に対する注意事項： 環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
回収、中和： 漏洩物は清潔な帯電防止工具を用いて集め、密閉可能な容器に回収し、後で
廃棄処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。
安全取り扱い注意事項： 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
 接触、吸入又は飲み込まないこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 環境への放出は避けること。

接触回避：	「10. 安全性及び反応性」を参照。
保管	
技術的対策：	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気 の設備を設ける。
混触危険物質：	「10. 安全性及び反応性」を参照。
保管条件：	熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。ー禁煙。 混触危険物質から離して保管すること。 容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。 施錠して保管すること。
容器包装材料：	内袋をいれたフレコンバッグや紙袋、缶等の容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：	0.2mg/m ³ (Mn として)
許容濃度 (ばく露限界値、 生物学的ばく露指標)：	
日本産業衛生学会 (2005 年版)	0.2mg/m ³ (吸入性粉じん・Mn として) 2mg/m ³ (吸入性粉じん) 8 mg/m ³ (総粉じん)
ACGIH (2005 年版) TLV-TWA	0.2mg/m ³ (Mn として) 5 mg/m ³
設備対策：	防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。 粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具：	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具：	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具：	適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡 (普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具：	必要に応じて適切な保護衣、保護面を着用すること。
衛生対策：	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観等：	灰色粉末
融点：	1,535 °C (鉄)
真比重：	7.87 (鉄)、2.64 (焼石膏)
溶解度：	水 (25°C) 0.7g/100ml (焼石膏)

10. 安定性及び反応性

安定性：	一般の環境下では安定している。
------	-----------------

整理番号：XX050

反応性： 水と水和反応し、凝固する。(焼石膏)
危険有害反応可能性： 酸、アルカリなどの化学物質と接触すると、有害なガス発生の原因となる可能性がある。
避けるべき条件： 空気とある比率で混合し、そこに着火源があると粉塵爆発の危険性があるので注意する。
混触危険物質： 強酸化剤、強酸
危険有害な分解生成物： 通常の取り扱い条件下では発生しない。

1 1. 有害性情報

急性毒性： 経口 データなし
経皮 データなし
吸入(ガス) GHS の定義による固体であるため、ガスでの吸入は想定されず、分類対象外とした。
吸入(蒸気) データなし
吸入(ミスト) データなし
皮膚腐食性・刺激性： データなし
眼に対する重篤な損傷 区分 2B
呼吸器感作性又は皮膚 呼吸器感作性：データなし
皮膚感作性：データなし
生殖細胞変異原性： データなし
発がん性： データなし
生殖毒性： データなし
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)： データなし
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)： データなし
吸引性呼吸器有害性： データなし

1 2. 環境影響情報

水生環境急性有害性： 分類できない。
水生環境慢性有害性： 分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装： 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

輸送に関する通常の「取り扱いでは、危険はないが、直射日光や雨濡れ、水分から避けて積み込むもの

整理番号：XX050

とし、さらに、容器からの漏れが内容に注意する。

1 5. 適用法令

- 1) 労働安全衛生法
- 2) 水質汚濁防止法

1 6. その他の情報

参考文献

- 1) GHS 対応一化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度
- 2) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) ホームページ
- 3) 職場の安全サイト (厚生労働省)

この情報は、新しい知見及び試験等により改定されることがあります。

本文書の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、安全性の保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであつて、特別な手扱いをする場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱いを願います。